展示の目的

北海道、本州、四国及び九州の４つの島とその周辺の多数の島から構成される日本領土。その範囲は、東西南北約3000kmにも及びます。また、日本列島は、その地形や環境などにより多彩な自然を有し、そしてその多彩な自然に基づく多様な文化が育まれてきました。

一方で、ロシアによるウクライナ侵略や東シナ海や南シナ海などにおける力や威圧による一方的な現状変更の試みなどの例に見られるように、法の支配に基づく自由で開かれた現在の国際秩序は重大な挑戦を受けています。そのような中、日本の領土や主権をめぐる情勢についても、ロシアによる北方領土の不法占拠の継続、韓国による竹島の不法占拠の継続、また尖閣諸島周辺海域での中国海警船による力や威圧による一方的な現状変更の試みなど厳しさを増しています。

日本政府は、領土・主権をめぐる情勢について、日本の領土・領海・領空を断固として守り抜くとの方針に基づき毅然としてかつ冷静に対応しつつ、国際社会の法と秩序を尊重しながら、それぞれの事案の性質に応じて、適切な対応をとる方針です。

領土・主権展示館への来館が、日本の領土や海洋などについて学びつつ、今後、日本が厳しさを増す国際情勢の中でどのように対応すべきか来館者の皆様にとって考える機会となれば幸いです。

アクセス

- 所 在 地　東京都千代田区霞が関3-8-1
  虎ノ門ダイビルイースト1階
- 開館時間　10時～18時
- 入 館 料　無料
- 休 館 日　月曜日（月曜日が祝休日となる場合はその次の平日休館）
  年末年始（12月29日から1月3日）
  ※3月第1週の日曜日は臨時休館
- 電話番号　03-6257-3715
- 最寄り駅　東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」3番出口（下の地図をご覧ください）より 徒歩1分
- 近隣施設　国会議事堂、憲政記念館、文部科学省情報ひろば、千代田区立日比谷図書文化館、日比谷公園、虎ノ門ヒルズなど

＊専用駐車場はございません。大型バスをご利用の場合は、別途ご相談ください。

企画展・館内イベント・地方巡回展などの最新情報は
当館ホームページや公式 X でご確認ください。

@ryodoshuken

HP https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan

X（Twitter）　ホームページ

領土・主権

領土・主権展示館

NATIONAL MUSEUM OF
TERRITORY AND SOVEREIGNTY

入 館 無 料

内閣官房 領土・主権対策企画調整室
Office of Policy Planning and Coordination on Territory and Sovereignty

領土・主権展示館
NATIONAL MUSEUM OF TERRITORY AND SOVEREIGNTY

学校・団体向けプログラム

人数や時間、内容など、ご要望を踏まえたプランをご提案します。まずはお気軽にご相談ください。

- 児童生徒の修学旅行・社会科見学等でご来館いただく際にご利用いただけるプログラムです。
- 各コースに解説員をつけることができ、わかりやすい解説により展示内容について深く理解することができます。
- 滞在時間によってプログラムを選択できます。ご要望に沿って、見学プログラムの時間・内容は調整可能ですが、人数によってはご希望に添えない場合がございます。
- 少人数、班別での見学も承っております。
- 学校団体に限り、持ち込みによる昼食が可能です。

校外学習向けプログラム一例

要事前予約　解説員付き！

●展示室のみモデルコース

領土や主権の基礎的知識を学び、それらの主なポイントを理解するコースです。

30分 ポイント学習コース	導入（5分）	展示解説・シアター体験（20分）	質疑応答（5分）
60分 標準学習コース	導入（5分）	展示解説・シアター体験（45分）	自由見学・質疑応答（10分）

領土や主権の基礎的知識を学び、それらの概要を理解するとともに、特定のテーマ（任意設定）について理解を深めるコースです。そのため、グループワークの時間を設けております。

90分 充実学習コース	導入（5分）	展示解説・シアター体験（45分）	休憩（10分）	グループワーク（20分）	質疑応答（振り返り）等（10分）

●展示室＋ゲートウェイホール　モデルコース

領土や主権の基礎的知識を学び、それらの概要を理解するとともに、様々な視点から領土を探究するコースです。
複数グループに分け、AグループとBグループが展示室とゲートウェイホールを交代で見学するコースです。

	展示室			ゲートウェイホール		
90分 学習・探究コース	導入（5分）	展示解説・シアター体験（35分）	移動	映像視聴（10分）	グループワーク等（20分）	発表・感想（10分）

ワークショップ（現在の検討例）

水戸藩の地理学者長久保赤水が製作した
日本地図を活用した地理教育のワークショップ

写真提供：長久保赤水顕彰会

尖閣諸島のかつお節工場のジオラマ
及びその3Dデータなどを活用した
ワークショップ

学習資料

事前／事後の学習資料の
ご提供が可能です！

団体利用のお申込みのご案内

学校団体でお越しのお客様には事前のご予約・お申込みをお願いしております。下記の「予約内容」をメール本文にご記入の上、「団体お申込アドレス」宛にお送りください。領土・主権展示館より、折り返しご予約のお手続きの連絡をさせていただきます。

予約内容

1. 来館日時（滞在予定時間）※第2希望まで記入
2. 予約者名
3. 予約団体名
4. 電話番号（携帯電話番号）
5. メールアドレス
6. 参加人数、引率者数
7. 解説の有無 ※ご希望の解説コース名などを記入
8. 備考 ※車椅子の利用など、その他ご希望事項

ご予約に当たっての注意点

・予約は、3営業日前までにお願いします。
・予約は先着順とし、1年先まで受付可能です。

【団体お申込みアドレス】
info@mtas.go.jp

先生の声

１００人規模での見学となり不安でしたが、スタッフさんの手厚いご対応でトラブルなく見学できました！

小学生では未学習の内容も多いですが、優しい解説に児童も熱心に聞き入っており、よい事前学習になりました！

映像や解説などもあり、生徒たちの領土・主権への関心が高まったように思います！

Q&A

Q 見学人数に制限はありますか

A 特にありません。
少人数のグループでもお申込みいただけます。大人数の場合は分けてご案内します。時間をずらして来館いただくようお願いする場合もあります。

Q 見学に必要な時間は、何分くらいでしょうか

A ご希望の所要時間にあわせて対応します！
1時間ほど見込んでいただきますと駆け足でない見学・解説ができますが、それぞれのご希望に沿って対応させていただきます。

Q バス用の駐車場はありますか

A 駐車場はありません。
近隣の駐車場等をご利用ください。

領土・主権展示館

NATIONAL MUSEUM OF TERRITORY AND SOVEREIGNTY

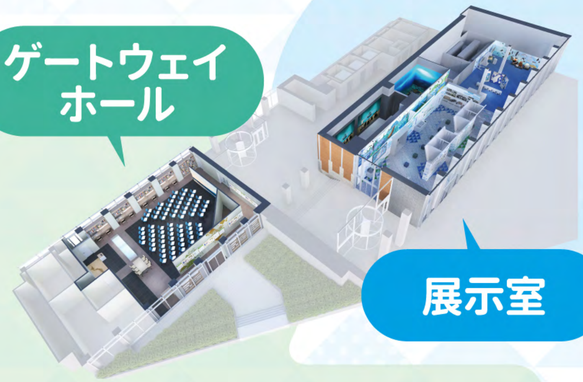
フロアガイド

体験のその先へ。知る・考える・探究がはじまる！

展示室では「見る」「体感する」展示を展開し、北方領土・竹島・尖閣諸島を中心に発信します。ゲートウェイホールでは、日本の領土や海洋全般をテーマに、「聞く」「調べる」「考える」「議論する」など、多目的に学びを深める空間として活用します。
また、社会科見学などの団体向けに昼食の喫食場所もご用意しています。

学びの拠点が充実しました！

展示に加え、レクチャーやワークショップの会場としての使用が可能。さらには教育や調査研究のためのライブラリーの機能も有する多目的空間です。



ゲートウェイホール

展示室

3面スクリーン（収容人数：80名）

3面スクリーンによる没入型の映像シアターでは、「日本の多様な国土と文化」、「国境離島の魅力」（2026年3月頃公開）をテーマとした映像等を上映。迫力ある映像体験を通じて、日本の魅力をより深く感じていただけます。

講演会やシンポジウム（ハイブリッド形式を含む）に対応しており、遠隔地とつないだ学習やワークショップにも活用できます。

英国伊能小図（実物大レプリカ※）

世界に3セットのみ確認されている伊能小図。このうち、英国国立公文書館が所蔵するものは、江戸幕府が英国海軍に提供したもので保存状態が良く、英国海軍の海図に反映するために加えられた様々な書き込みが見られる興味深いものです。

※2026年3月頃完成予定。それまでは縮小レプリカを展示。

ライブラリー

日本の領土・主権をめぐる情勢や歴史に関する図書・雑誌類に加え、副教材や学習指導案、地図・史料を収集・整理し、研究や教育に役立つ資料を公開します。

デジタル日本地図コーナー

江戸期～明治初期の地図類を通して、「日本」への認識の変化をたどります。

04 イマーシブ・シアター

床・壁・天井に北方領土・竹島・尖閣諸島の自然を投影し圧倒的な迫力を演出。まるで島々の空を飛んだり、海を潜ったりしているような感覚を体感できます。

05 ハンズ・オン・アース

大きな地球型映像装置を使って、歴史や地理などの授業で取り上げるべき内容を学習指導要領に沿ってわかりやすく解説します。
そのほかにも、子供向けコーナーのコンテンツで楽しく学習することができます。

03 ヒストリー・ウォール

3つの大画面上にアニメーション映像を上映し、北方領土・竹島・尖閣諸島の歴史を大スケールで実感することができます。

06 日本政府の取組

厳しさを増す国際情勢の中で、領土を保全し法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化するための政府の取組や方針を分かりやすく紹介します。

01 オープニング・ビジョン

なぜ「領土・主権展示館」が作られたのか。現在の厳しい国際情勢を踏まえ、今、領土について考える必要性について問いかけます。

02 北方領土・竹島・尖閣諸島コーナー

北方領土・竹島・尖閣諸島の各ブースで、各島々の歴史や現状について短い動画や展示品で学習することができます。

※画像はすべてイメージです